

- | |
|--------------------|
| ○ 環境教育又は環境学習 |
| ○ その他（地下水 湧き水について） |

○飯田市環境アドバイザープログラム票

作成日 令和6年2月8日
 作成者（実施者） 氏名 浅野 清志
 電話（自宅） 0265-27-3648
 F A X 0265-27-4536
 携帯電話 090-2148-5532

プログラムの名称 「地下水・湧水の性質について」

1 目的等

目的（ねらい）	身近な資源である地下水について、水源を調べ味わうことで、その価値を知っていただく。
概要	用意された会場で、簡易な水質検査をする ① いくつかの水を味わってもらい、 ② 簡単な水質検査を行う、 ③ パワーポイントか紙資料を使って説明

2 対象者、人数等

対象者及び人数	小学生、一般、親子 10人から50人まで
所要時間	30～60分
実施場所	屋内又は屋外いずれでも可能

3 使用する資料、用具等

使用する資料又は用具	プロジェクター、水を味わう、簡単な水質検査については、用意をします。パックテストで行う場合は、実費の負担あり。試飲する水も用意できます。
主催者又は参加者が用意すべきもの	紙の資料が必要な場合には、原稿を用意しますので、印刷してください。

4 その他留意事項等

実施に当たって必要な条件	なし
その他特に留意が必要なこと等	具体的な内容については、事前に相談していただくと、対応できるものもあります。

○ その他（地下水 湧き水について）

○飯田市環境アドバイザープログラム票

作成日 令和6年2月8日
作成者（実施者） 氏名 浅野 清志
電 話 0265-27-3648
F A X 0265-27-4536
携帯電話 090-2148-5532

プログラムの名称 「地下水・湧き水について学ぶ」

1 目的等

目的（ねらい）	身近な資源である地下水について、特徴やその良さを知り、それぞれでできる地下水保全につなげてもらう。
概要	・用意された会場で、プロジェクターでパワーポイントの映写をしながら話をします。 これまで講演したタイトル等 「地下水とミネラルウォーター」「地下水を測る」「飯田市下伊那の湧水」「地下水から見た環境保全」「湧水を楽しもう」など ・下伊那誌に載せられた、ため池・自然湖についても要望があれば紹介します。

2 対象者、人数等

対象者及び人数	小学生、中学生、一般、親子 10人から50人まで
所要時間	30分から60分
実施場所	屋内

3 使用する資料、用具等

使用する資料又は用具	パソコン、プロジェクター、スクリーン、紙の資料
主催者又は参加者が用意すべきもの	プロジェクター、スクリーン、紙の資料（原稿は提供しますので、人数分の印刷をお願いします。）

4 その他留意事項等

実施に当たって必要な条件	なし
その他特に留意が必要なこと等	具体的な内容については、事前に相談していただくと、対応できるものもあります。

○ その他（地域素材を使って）

○飯田市環境アドバイザープログラム票

作成日 令和6年2月8日
作成者（実施者） 氏名 浅野 清志
電 話 0265-27-3648
F A X 0265-27-4536
携帯電話 090-2148-5532

プログラムの名称 「地域素材を使った凧作り」

1 目的等

目的（ねらい）	地域にある素材の和紙（または障子紙）と竹の骨を使って凧作りをする。 （子ども祭りで作るダイヤ凧と同じものです。）
概要	<ul style="list-style-type: none">・ビニールシートとプラスチック骨の凧と、地域にある素材の凧との違いを知る。（環境から見た地域素材の良さを説明する。）・無駄を出さない紙の使い方を説明する。・手順を説明しながら、凧を作る。・天候が良く、適当な場所があれば、凧あげをする。

2 対象者、人数等

対象者及び人数	小学生、親子 5人から30人まで
所要時間	60分から90分
実施場所	屋内

3 使用する資料、用具等

使用する資料又は用具	竹の骨は必要な数用意できます。 和紙は相談の上決めます。障子紙であれば用意できます。
主催者又は参加者が用意すべきもの	タコ糸、のりまたは木工用ボンド、ハサミ

4 その他留意事項等

実施に当たって必要な条件	1～2年生は保護者の協力が必要になります。
その他特に留意が必要なこと等	材料は、下久堅の和紙などが理想的です。事前に相談があれば、自分の手すき和紙を用意できます。

○ その他（地域素材を使って）

○飯田市環境アドバイザープログラム票

作成日 令和6年2月8日
作成者（実施者） 氏名 浅野 清志
電 話 0265-27-3648
F A X 0265-27-4536
携帯電話 090-2148-5532

プログラムの名称 「地域素材を使った和紙作り」

1 目的等

目的（ねらい）	地域にある素材のコウゾを使って和紙作りをする。 ハガキサイズ、A3版
概要	・地域にある循環可能な資源の例として、コウゾを説明する。（環境から見た地域素材の良さを説明する。） ・それぞれで紙漉きをする。 ・アイロンで乾燥させる。

2 対象者、人数等

対象者及び人数	小学生、親子 5人から20人まで
所要時間	90分から120分
実施場所	屋内

3 使用する資料、用具等

使用する資料又は用具	和紙の材料と紙漉き枠は用意できます。 ハガキサイズは25組、A3版は1組
主催者又は参加者が用意すべきもの	アイロン、アイロン台、ハガキサイズの枠が入るトレイ(人数分)、 タオル、バケツ

4 その他留意事項等

実施に当たって必要な条件	水がこぼれても良い場所で行いたい。
その他特に留意が必要なこと等	・作った和紙の利用については、現在考えてありません。 ・A3版の場合は、凧作りが可能です。 ・時間が取れば、事前に打ち合わせをお願いします。 ・材料のコウゾがなくなれば、終了となります。